



あなたに



かねこ 金子 勇さん

きのこ菌床センターを拠点に 地域おこし協力隊員として活動

きのこ菌床センターを拠点に活動
をしていた地域おこし協力隊員の金
子勇さん(43)の任期が、8月31日で
終了しました。

地域おこし協力隊は、都市地域か
ら人口減少の進行が著しい地域に住
民票を異動し、生活の拠点を移した
人を市町村が『地域おこし協力隊員』
として委嘱します。隊員は一定期間、
地域ブランドや地場産品の開発・販
売・PRなどの『地域協力活動』を行
いながら、その地域への定住・定着
を図ることを目的とした制度です。

金子さんに地域おこし協力隊員と
して過ごした3年間と今後の活動に
ついて聞いてみました。

地域おこし協力隊として

平成29年9月に着任し、
上尾幌のしいたけに関わり
技術の習得や上尾幌地区の
活性化など、あっという間
の3年間でした。

札幌市出身の自分にとっ
て驚いたことは、物々交換
の習慣や人との繋がりの強
さが印象的で、SNSなど
よりも早く情報が伝わって
いるのには驚きました。

思い出に残っていること

平成30年9月6日に発生した北海
道胆振地方東部地震後に発生した北
海道全域の停電『ブラックアウト』の
時が一番印象に残っています。

町の方が一丸となって、困ってい
るところをピンポイントで助ける。
そして、自分も周りの皆さんの力を
借りて、不自由も少なく生活ができ
ました。

厚岸町の魅力

なんととっても住んでいる人が魅
力です。人柄はもちろんのこと、『専
門職の町』だと感じています。海と
山、そして商業についても難しいこ
とや厳しいことを皆さんは、サラッ
とこなしてしまいます。

この3年間で、上尾幌地区の方を
はじめ町内外の人たちと交流してき
ましたが、人との関わりの中から知
ることのできる情報や体験が自分の
財産となりました。普通に観光する
だけでは決してわからない、『プロフ
ェッショナルな人がたくさんいるま
ち!』、ここが魅力です。



今後の活動について

任期終了後は、上尾幌に住みながら、
尾幌地区できのこ、羊、いちご、山菜
の生産・加工を軸にした観光牧場を兼
ねた兼業きのこ農家を目指します。



しいたけ栽培を始めるまでにかか
る初期費用については、離農者の元
牛舎を改造したり、資材を再利用す
ることで概算の10分の1以下に抑え
ることができました。また、きのこ
の新規就農時の助成制度を作ってい
ただいたので、あとは、町からきの
こ農家の認定新規就農者として認定
されることを目指し、さまざまな助
成制度を利用しながら、『楽農』をモ
ットーに新しい農家のスタイルを確
立したいと思っています。

厚岸町に新規就農の移住者が更に
増えるよう、そして、この活動が成
功事例となるよう、町に貢献してい
きたいと思っています。